

気楽に囲碁を楽しめる場を

2 しんきろう 真喜楼 「碁」コミュニケーション・サロン

「真喜楼囲碁の集い」も早や6年目に入りました。この間トラブル一つなく楽しめたのは、ひとえにお世話役の櫻田先生はじめ参加者の皆さんのお心遣いによるもので感謝に堪えません。碁会所などは有段者が主で弱い者には敷居が高いため、級位者が気楽に囲碁を楽しめる場をとの思いから始めたこの「集い」、まさにそういう場になり、今では毎回有段者から初心者まで10名前後が集まって楽しんでいきます。

開設時初めて碁石を持った方々も先生のよきご指導により今では先生による指導碁ではなくお互い同士対局し、激論を交わすまでになりました。「碁碁教室ではないんだよ、楽しければいいんだ」と



いう先生の緩やかな態度に新しく来られた方も緊張せずに楽しんでおられます。

碁碁を介した地域の人々の集いの場として今後共続けていきたいと思っています。(大澤佳子)

DATA
所在地 砧6丁目
活動日 第2,4木曜日 14:00-17:00

地域共生のいえがわら版

ふれる・つながる・ひろがる

第12号
発行：平成30年9月



イラスト：飄斎(小塚秀忠)

ふくふくのいえ



「子どものこうふく」「シニアのふくし」
2つが重なり、家の次なる居場所・セカンドプレイスとして、思い出深い実家を母と娘がひらいた。
子育て中の親子、昔ながらのご近所さん、新たなかたちのつながりが生まれる。「小さな森」に登録し、庭も皆の庭に。思い出の時間から、新しい時間へ。
幸せが重なる地域共生のいえ「ふくふくのいえ」のスタートだ。

地域共生のいえ 掲示板

新しい地域共生のいえが 生まれました!

今号では「ふくふくのいえ」をとり上げましたが、7月に「ななこの積み木ハウス」が登録されました。高齢の方が楽しくおしゃべりをしながら麻雀ができる場です。詳しくは次号(3月発行予定)で取り上げますので、楽しみにお待ちください。(トラストまちづくり)

4 ありりんかん 在林館 木漏れ日のギャラリー

在林館企画展
「代田橋分譲地文化祭」
9/6(木)～11/15(木)
毎週木曜日 14:00～18:00

在林館のある旧代田橋分譲地でまちの文化祭を開きます。当初の住まいや暮らしの文化を古写真などで探るとともに、人々が大切にしてきたモノや自作の品を持ち寄って楽しむ文化祭です。

■DATA
所在地 世田谷区羽根木 2-34-4
*東松原駅より徒歩約4分
連絡先 03-3321-0530

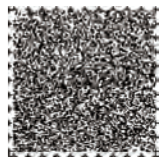
3 岡さんのいえTOMO まちのお茶の間

開いてるデーやってます
毎週水曜日 12:00～16:00

小さい子とお母さんも、年配の方も、どなたでもどうぞ。お弁当の持ち込みOKです。

レンタルスペース利用者募集中!
教室、趣味の集い、食事会などにご利用ください。*部屋の貸出料金：1時間1,000円。キッチン、ピアノの利用可。詳しくはお問い合わせください。

■DATA
所在地 世田谷区上北沢 3-5-7
*上北沢駅より徒歩約5分
連絡先 090-8332-7514



思い出深い家や庭が地域の多様な世代が交流できる場所に。

「子どものこうふく」「シニアのふくし」が重なり、幸せな時間が流れる。

1 ふくふくのいえ こうふくとふくしが重なる場

みどりと思い出に囲まれた実家を「セカンドプレイス」としてひらくまで

「小田急線の喜多見駅を降り、駅から歩いて5分ほどで家々のみどりが濃くなり、鳥や虫の鳴き声が聞こえてくる。すると、「FUKU*fuku」と書いてある可愛い手づくり看板に迎えられる。

部屋に入ると、若いお父さんが赤ちゃんを抱っこして遊ばせている。ダイニングでは、手づくりうちわ作り。この日は毎月第四土曜日の午前中に開催されている「ご近所サロン」の時間。ここはオーナーである武部文子さん、中野瑞子（みつこ）さん、母娘の実家だ。

2013年に両親が同時に体調を崩す。お子さんもまだ小さい中、子育て、介護のダブルケアを抱えることになった中野さん。そういった状況の中で、多様な人達とゆるやかにつながることのできる場所の必要性を感じたという。できることなら、この思い出深い家を地域の皆さんの何か役に立てる場所にできないかと、手探りの日々が始まった。2015年に世田谷トラストまちづくり（以下、トラまち）の「空き家等地域貢献活用事業」の存在を知り、この家が「セカンドプレイス」としての可能性を知ることになる。

その後、勉強熱心な中野さんは区内の別の「地域共生のいえ」を訪ねたり、2016年にはトラまち主催の空き家の活用方法、事業計画・資金計画を練るゼミナールに参加した。そこで講師をしていた“KYODOHOUSE”の近藤ヒデノリさん（※1）や“タガヤセ大蔵”の安藤勝信さん（※2）らと知り合い、相談。家の活用は長い時間がかかっても収支の採算がとれるカタチが重要と実感した。



動きだし、発見があり、人もいえも元気を取り戻した

中野さんの懸命さがやがて機が熟したように、家をひらく方向へと動き出す。「おでかけひろば」や一時預かりの「ほっとステイ」を始めようとしていた子育て支援グループ“ままとーと世田谷”（※3）の橋本陽子さんらと出会い、使っていない1階の部屋を使用してもらうことに。空き部屋活用として毎週月～金曜日の10時から15時に「おでかけひろば FUKU*fuku」として、ひらいている。冒頭のお父さん達はママ達からすすめられたのだろう。

お庭も色々な方が来られる場になればということと2018年2月にトラまちの「小さな森」に登録。



おでかけひろば FUKU*fuku

3月には地域共生のいえに登録した。

そうこうするうちに手作りうちわが出来上がった。色あざやかに、思い思いの形に貼られている。「このセンス、ステキ！」レクチャーしていた武部さんのお友達である先生が刺激を受けている。その横で武部さんが「ここにいるとね、嫁いだとき、子育ての日々、過ごしてきた時間が去来するんです」と目を細めてつぶやく。ご主人を見送ってしばらくは失意の中だったと言うが、現在の武部さんは古くからのご近所さんに囲まれて穏やかな笑顔だ。

「ふくふく」の意味は「子どものこうふく」と「シ



中野さん（左）、
武部さん（右）



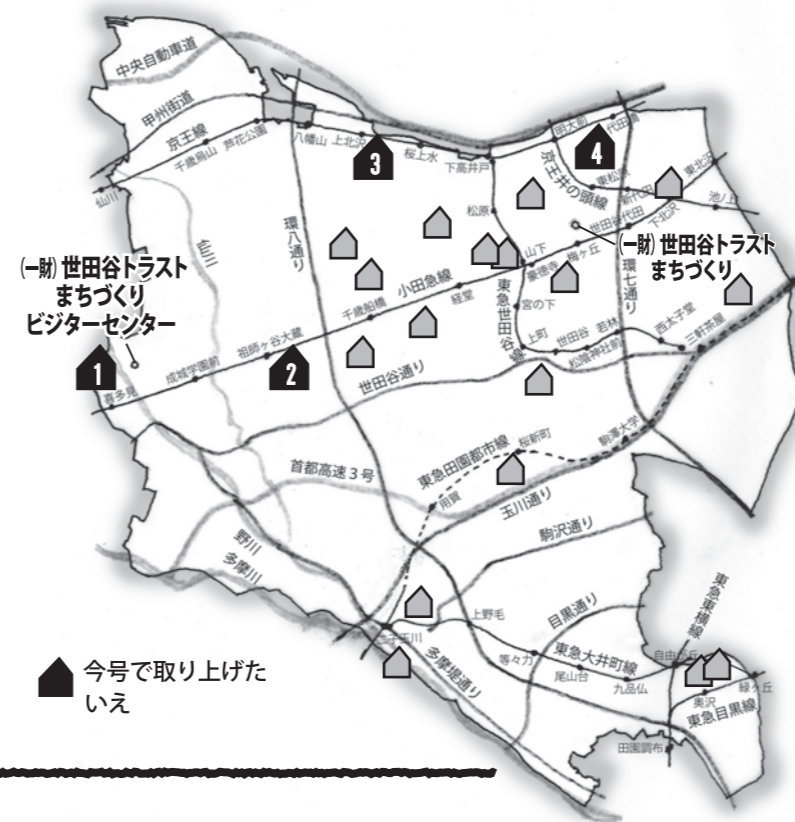
ニアのふくし」。早くも「ふくふく」が実現できている感じだ。今後はこの場に関わる人たちの知恵と技術を活かす場にできたらと中野さんの夢はふくらむ。

中野さんの小学生の娘さんが庭で遊んでいる。「小さな森」になった庭では皆で植えたハーブや野菜が育ち、木にはブランコが設置されていたりと、以前とは違う形のひとつひとつを確かめるように遊んでいる。母にも娘にも孫にも、このいえの幸せな時間は豊かさをもたらしているようだ。

DATA

所在地 喜多見9-14-15 *小田急線喜多見駅より徒歩約5分
連絡先 03-5761-9748
活動日 近所サロン 第4土曜日10時～12時
 その他は以下をご確認下さい。
ふくふくのいえ Facebook
<https://www.facebook.com/fukufukuhome/>
おでかけひろばFUKU*fuku Facebook
<https://www.facebook.com/odekakehiroba.fukufuku/>

- ※1「地域共生のいえ」オーナー
- ※2「空き家等地域貢献活用事業」成立物件オーナー
- ※3 2018年7月に“一般社団法人よこいと”へ移行



今号で取り上げた
いえ

「トラまち」から

さまざまな事業を結び、 環境共生・地域共生のまちを 育みます

今回「ふくふくのいえ」の記事の中では、「地域共生のいえ」だけでなく、財団で行っている「空き家等地域貢献活用事業」と「小さな森」についてふれています。ここで、それぞれの事業についてご紹介します。

【空き家等地域貢献活用事業】

区内にある空き家等を地域の資源と捉え、空き家等の地域貢献活用を目的とした相談窓口を開設しています。地域貢献活用を提供いただける空き家等を所有するオーナーと活用団体とのマッチングに取り組んでいます。空き家等を有効活用することで、地域の人々がゆるやかにつながりを持ちながら共に暮らしていける「地域コミュニティの活性化・再生」を目指します。



【小さな森】

みどりを育てていく想いをもちた個人所有の50㎡以上の庭を広く募り、財団が登録し、みどりの保全を図る制度。所有者が庭づくりのアドバイスやボランティアの協力を得てオープンガーデンを行うことで、みどりを守る大切さを広めています。庭を通じて、地域の交流が生まれるなどの効果もあります。

「地域共生のいえ」の他、さまざまな事業を進めております。各事業、関心のある方はぜひお問い合わせください。